

南が丘小学校だより



津市立南が丘小学校
平成28年6月1日

5月はゴールデンウィークから始まったせいか、あっという間に日が流れていったように思います。17日からは5年生の家庭科や2年生の校区探検に地域の方がたくさんご参加いただき、子ども達の学びを支援していただいています。本当にありがとうございます。おかげさまで、家庭科の作業では担任1人では行き届かない子ども達のきめ細かな支援ができますし、校区探検では職員では分からない地域の様子を教えていただけたり、複数の見守りによってさらに安全が確保できたりと、大変ありがたいことだと思っています。このように5月は地域の方々と共に、学校教育活動が一気に加速したように感じています。

しかしそんな中、子ども達の安全を脅かす出来事が起き、学校全体で対応してきたことがありました。また5月13日の小中合同地区懇談会で提起された問題の中にも、記憶に留め対応していかなければと思ったことがあります。そのほとんどが学校から帰ってからの出来事になりますので、保護者や地域の皆様にもお伝えします。

児童が乗る自転車が、走ってきた自動車と接触事故を起こしたのは5月中旬でした。幸いにもけがはありませんでした。一旦停止、左右確認を忘れ、道路を横断しようとした自転車が、それを避けようとした自動車と接触しました。どんな原因であろうとも、事故が起きれば命の危険にさらされるのは交通弱者と呼ばれる、歩行者、自転車です。学校では直ちに全校児童に、横断歩道を渡るとき一旦停止を行い、左右を確認するよう指導を行いました。

キックボードやエアガンなどは、子ども達の遊び場、遊び方によっては大きな事故につながります。遊びは慣れてしまうと、次の刺激を求めがちになります。しかし越えてはならない一線があるはずです。車道上での遊び、けがの危険を伴う遊びについてはエスカレートしている子ども達にはその危険に気付かないこともありますから大人の見守りや注意が必要です。

地区懇談会では危険な遊び場についてのお話が出ました。校区には公園がたくさんあるにも関わらず、わざわざ危険な場所で遊ぶ子もいるということです。子ども達はその意味を理解せず、却って危険と思われる場所に行きたがるのであれば注意が必要です。これから水の事故が心配な季節に入ります。暑い、面倒という理由でヘルメットをかぶらずに自転車に乗る子も出てくるかもしれません。事故というものはわずかな気のゆるみを突くようにしてやってくるものです。子ども達が元気に生活していくためにも、大人の目は必要です。

ただ私はこうも思うのです。危険だからと言ってフェンスで対応していれば

きりがありません。フェンスも大切ですが、子ども達の心に危険感覚・安全感覚を育てることが何よりも必要なのだと思います。いつまで経ってもフェンスがあるでしょうか。フェンスを作ってもらえるでしょうか。作るならば、子ども達ひとりひとりの心の中の危険感覚を育てるべきです。それを徐々に育てて行くのも私たち大人の役目です。

校長 岡野 俊

～地域の方々と共に進む 南が丘小の教育活動～



2年生の町探検にご協力いただいている ボランティアの皆さん



5年生の家庭科学習にご協力いただいている ボランティアの皆さん

6月の行事予定

6日（月）安全5 学校支援委員会③ 水泳指導開始 図書館まつり（～6/10） 8日（水）図書ボランティアによる 読み聞かせ 9日（木）6年生家庭科学習支援開始 給食クイズ（給食委員会より） 10日（金）6年生家庭科学習支援② スクールカウンセラー来校 11日（土）防災教室（小中合同） 13日（月）2・5年生ドッジボール週間 15日（水）安全5	16日（木）6年生家庭科学習支援③ 17日（金）5年生デイキャンプ 6年生家庭科学習支援④ スクールカウンセラー来校 23日（木）6年生家庭科学習支援⑤ 24日（金）6年生家庭科学習支援⑥ スクールカウンセラー来校 25日（土）学校公開デー 学級懇談会 27日（月）安全5 ふれあいまつり実行委員会 30日（火）マザーグース（5年生）
---	--

